



▲マイクロエレクトロニクスを利用したNC工作機械のプログラミングから加工 技法まで、生産管理的な各種技能を学ぶ訓練生。修了後の活躍が期待されます

ME時代 への人材育成

成熟社会といわれる今日、わが国経済が高度成長期を経て安定成長へと移行する中で、各企業にとり収益の確保と経営の合理化は大きな関心事となっています。

また、高度情報化社会の進展によりさまざまなニューメディアへの対応も必要となっています。

こうした中で、企業のOA化、FA化を支えるマイクロエレクトロニクスを利用した産業ロボット、NC工作機械、ファクシミリなどの果たす役割は、企業の合理化、効率化、品質、精度の向上などに大きなものがあります。

こうした分野を支える労働力需要もおう盛で、広い知識と高い技術をもった職業人の育成は、社会的要請となっています。

県では、これにこたえられるプロを養成するため60年度からME機械科、OA事務科を盛岡市と水沢市にある県立高等職業訓練校に設置し、ME時代に即した人材の育成に努めています。

